

2 指導案例

「和服と洋服の違いをまとめよう」（本時 8 / 17 時間目）

(1) 本時の目標

- ・和服（浴衣）を着た日常生活の体験から分かったことについて意欲的に意見交流し、日本の伝統衣装である和服のこれからの在り方を考えることができる。 【関心・意欲・態度】
- ・和服（浴衣）を着た日常生活の体験から和服と洋服の特徴をまとめ、和服を着なくなった理由について自分なりの考えを説明できる。 【知識・理解】

(2) 準備・資料

- ・教師：浴衣を着用，前時で模造紙にまとめた板書記録，ワークシート②（班），付箋（赤，青），短冊（赤，青），体験活動の写真（着付け体験，国語の授業，給食，清掃の様子），
- ・生徒：浴衣を着用，前回のワークシート①

(3) 学習過程

時間	学習活動 個：個人 班：グループ 斉：一斉	教師の支援・留意点 ☆評価規準
つかむ5分	<p>1 浴衣を着て活動した感想を発表する。 斉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴衣は暑いし帯が苦しい。早く脱ぎたい。 ・汚さないかひやひやした。 ・すぐに着崩れるし、きれいに直せない。 ・夏祭りに浴衣を着たいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和服を着た生活の様子を知るために、3時間目着付け体験，4時間目国語科（他教科との連携），給食，清掃，5時間目家庭科（本時）の時間割を設定する。 ・浴衣を着て本時を受けることで、和服の特徴や考えをまとめやすくする。 ・体験を振り返りやすくするために、本日の活動の様子が分かる写真を掲示する。
広げ る 20 分	<p>2 本時の学習内容を知る。 斉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 和服VS洋服 長所と短所をまとめよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の板書記録（模造紙）を掲示する。
	<p>3 浴衣を着た体験をまとめる。 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴衣を着た体験から分かった長所（◎）や短所（△）を、付箋に記入する。（◎は赤，△は青の付箋に記入する） <p>【前時の授業から▲は短所，○は長所の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲和服は着るのが難しそう，面倒くさそう →△おはしょりを作るところが難しかった。 △紐や帯を結ぶのが難しい。 ▲和服は苦しそう →◎国語の授業中は帯のおかげで姿勢がよくなった △帯が苦しくて給食が食べられなかった ▲和服は動きにくそう →◎床の雑巾掛けは、裾をはしょったら、動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②に、長所（◎）は赤，短所（△）は青の2色の付箋を使って、意見を整理させる。 ・机間指導をしながら、感想が書けない生徒には、具体的に体験時の様子を聞いて、感想を引き出す。 ・意見の出尽くした班には、同じ意見の付箋をまとめるよう指示する。意見をまとめる際に、質問し合ったり、意見を付け加えたりして、意見交流をするよう伝える。

	<p>きやすいし、裾を汚さずにすんだよ</p> <p>▲和服は着たくない</p> <p>→◎日本の伝統衣装だから行事に着たい。夏祭りには浴衣が雰囲気合っていていい</p> <p>◎女子は華やかでいい △男子は地味だね</p> <p>◎所作が上品になる</p> <p>◎国語の俳句の授業で夏をイメージできた</p> <p>▲収納が大変そう、難しそう</p> <p>→◎折り目に沿ってたためば、コンパクトにたためた。薄くなった。</p> <p>○浴衣は涼しそう</p> <p>→△見た目は涼しそうだが、暑かった</p> <p>◎腹周りは帯で暑いけどお腹が冷えないね</p>	<p>☆和服と洋服の違いを付箋にまとめようとしたか。(グループ活動の様子、ワークシート①②)</p> <p>【知】</p> <p>☆班で意見交流していたか。(グループ活動の様子、発言)</p> <p>【関】</p>
<p>深める 20分</p>	<p>4 意見を発表する。 斉</p> <p>・班でまとめた意見を発表する。</p>	<p>・和服の特徴を理解しやすくするために、状況を再現しながら発表するように伝える。</p> <p>・前時の板書記録(模造紙)に意見を書き足すことで、体験前と後での意見の違いを明確にする。前回の意見と区別するために、長所はピンクの短冊に、短所は青色の短冊に書き足し、内容を整理する。</p>
<p>まとめる 活用する 5分</p>	<p>5 本時の授業のまとめをする。 個</p> <p>・日常生活には立体構成の洋服は動きやすくていいことが分かった。昔の人もそれを実感したから和服を着なくなったんだと思う。和服は日本の伝統衣装だから、なくなってほしくない。だから夏祭りや成人式など特別な行事に着ることで、残していきたい。</p>	<p>・浴衣の着付け体験から本時の意見交流までを振り返り、和服を着なくなった理由について、自分なりの意見をワークシートに書くように伝える。</p> <p>☆これからの和服との関わり方を考えようとしたか。(発表の内容、ワークシート①)</p> <p>【関】</p> <p>☆和服を着なくなった理由について、自分なりの考えを説明しようとしているか。(グループ活動の様子、発言、ワークシート①②)</p> <p>【知】</p>

(4) 評価

- ・和服(浴衣)を着た生活体験について意欲的に意見交流をしたことを基に、日本の伝統衣装である和服のこれからの在り方について考えようとしたか。(発表の内容、ワークシート①)
- ・和服(浴衣)を着た生活体験から和服と洋服の違いが分かり、さらに和服を着なくなった理由について根拠をもって説明しようとしたか。(グループ活動の様子、発言、ワークシート①②)